

## 陳 情 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	3 9 5 1	受 理 年 月 日	令 和 4 年 1 2 月 2 1 日
件 名	学校における新型コロナウイルス感染防止対策の中止		
要 旨	<p>新型コロナウイルス感染防止対策として行われている学校での児童・生徒のマスク着用について以下のことを提起する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 呼吸（体内に酸素を取り込み、体外へ二酸化炭素を排出すること）は生命を保つための絶対条件である。健康な児童・生徒にとってマスクは呼吸を阻害し、健全な発育のみならず、酸素の欠乏から脳障害や生命にも危険を及ぼすリスクがある。</li> <li>2 高齢者への思いやりマスクや若年者に無症状感染者が多く存在する等、誤った報道で感染防止対策が幼児に至るまで推奨されている。学校にもマスク着用が指導されたが、無症状感染に科学的根拠はない。</li> <li>3 マスクに感染予防効果はなく、健康な児童・生徒に必要な。むしろ、マスク内で菌の繁殖がひどく、人体に有害である。</li> <li>4 マスク着用は義務であってはならないにもかかわらず、鼻が出ているので鼻までふさぐことという指導や個人の意思に関係なく同調圧力を向け、学校全体で当然のようにマスクの着用を促している。</li> <li>5 現在、世界中の旅行者が行き来し、感染防止対策が緩和される中、今なお学校ではマスク着用、黙食、ソーシャルディスタンスという身体的、精神的に有害な指導が行われている。ストレスによる集中力の低下や学習障害も報告されている。</li> </ol> <p>については、学校での全ての新型コロナウイルス感染防止対策を中止し、全ての学校の児童・生徒に安全で健全な発育ができる教育環境を与えることを願う。</p>		
陳 情 者			
回付委員会	教 育 福 祉 委 員 会		